

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくれます。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくれます。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくれます。

としがかん

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231



作文を書こう 館長になろう!

かんちよう

こども「一日館長」をばしゅう

小・中学生の利用者のみなさん
図書館について考えたことを、作文に書いてみませんか。図書館について、いつも考えていること、こうだったらいいなと思うこと、どんなことでもいいのです。良い作文を書いてくれた人には、表彰のうえ「一日館長」をさせていただきます。さあ、がんばろう!!

夢の図書館

姿川第一小学校三年

石原 百合

スペースシャトルに乗って
虹を渡って 図書館に行く
星のかたちをしている

図書館

自動ドア、

図書館自体が発光している。
空の上に図書館がある。

スペースシャトルの

駐車場がある。

一日館長をおねがいする日は、
十月二〇日(日)。小学校低学
年・中学年・高学年・中学生、そ
れぞれ一人ずつ、計四人の方に
「館長」になっていただきます。
スケジュールは、表彰式のと
館内視察、カウンターでの本の貸
出し、職員への訓示など、もりだ
くさん。

元気のいいチビッコ館長をまっ
ています。

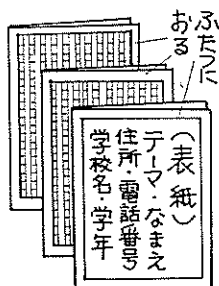
〈申し込みのしかた〉

○受付 九月一日から九月九日

○テーマ 図書館について考える
「図書館と私」「これか
らの図書館」「ゆめの図
書館」など、自由に。

○字数 四〇〇字づめ原稿用紙二
枚まで

○氏名・住所・電話番号・学校名
学年を書いて、図書館のカウン
ターに出すか、郵送してくださ
い。(送り先〒320宇都宮市明保
野町七―五七 宇都宮市立図書
館)





市立図書館 2年のあゆみ

木木木木木

「いつでも、どこでも、だれでも、どんな資料でも」をスローガンに開館した図書館も、七月七日で開館二周年を迎えました。開館してから五十八年七月六日までに、約六万二千八百人が貸出登録をし、延べ五十四万人が百六十六万五千冊の本やレコード・テープなどを借りて、読んだり、聴いたりしました。

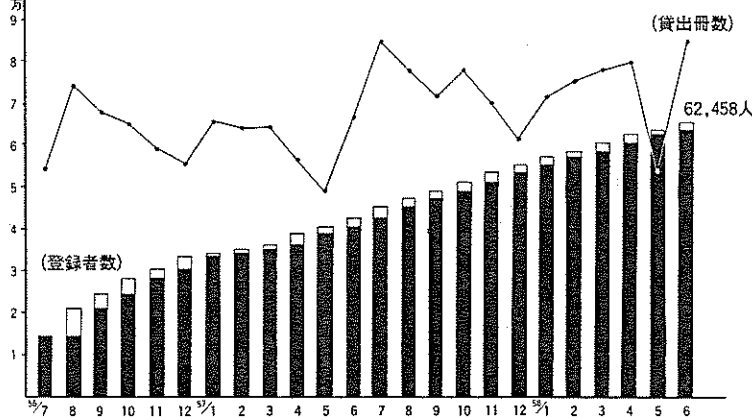
また、図書館では、「手づくり本」「ずいひつ」「本の読み聞かせ」「点訳・朗読」などの講座や、井上ひさし氏・つかこうへい氏・高橋健二氏・立松和平氏などを講師に招いて、講演会などを開いてきました。

これからも、市民のみなさんのご要望にこたえた講座や講演会を開きますので、ご参加ください。

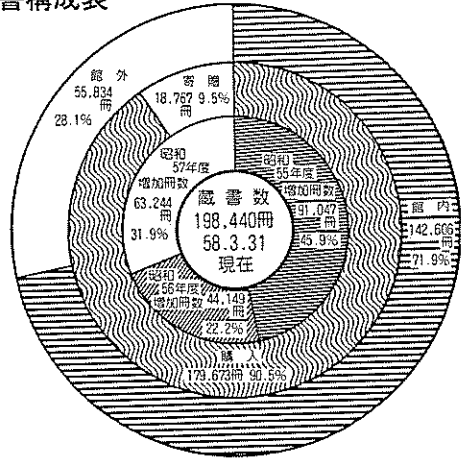
なお、一階ホールにおいて、「市立図書館二年の歩み」と題した展示を行っていますので、ぜひ、ご覧ください。

▲一九八二年
二月一六日館内貸出し
一〇〇万冊突破

月別登録者数・貸出冊数
(累計)



蔵書構成表



戯曲家、演出家、俳優として劇団「夢の遊眠社」主宰者である野田秀樹氏を迎えて、七月十日(日)、戯曲読書研究講座「化粧論」の講演が行われました。

講演は、女性として登場した野田氏への驚きにはじまり、快テン



化粧論

野田秀樹氏

ポで進み、時おりの笑いの場合は野田戯曲の一端を見るようでした。

内容は、なぜ講演をするにあたって化粧をするのかを皮切りに、人間五感論、カスバハウザー、芝居微積論、カタストロフ論を用いて、終始、「見る」と「見られる」の自意識についての戯曲論でした。役者の間は、役者が自意識を感じる時ととらえ、氏自身、どういうふうに見られているかを常に考えているとのこと、芝居人野田が、前面にでていました。

立松和平氏



密月について

小説を書くということは、田畑を耕すことと同じで、どの位掘り起こせるかが問題だ。自分の文体を見出さぬまま、半端な態度で小説に向かえば、間もなく行き詰まり、手痛いシツペ返しがる。決して嘘は書けない。必ずや作者が

野間文芸新人賞を受けた立松和平氏は、六月十九日、文体の話から独自の文学世界をくり広げ、約一時間半、一五〇人の聴衆を魅了しました。トランク一杯ある没原稿。尽きぬ泉のごとく、わき出る着想の手網をいかに引き締めるかに悩んでいる風でした。創作にますますの自信を得たという、氏の今後の活躍が期待されます。

文庫ぶつ

2

司会 きょうは図書館から近距離にある三文庫の代表の方々にお集まりいただきました。今抱えている問題は？

田口 市立図書館開館と同時に会員が減ってきたこと、世話人の負担を考えると開庫日数を増やせないことです。

鳥井 家庭の一室を解放してありますが、蔵書も増え、場所が狭くなりました。家庭文庫の弱点ですね。

小野口 本が少ないので近くにある市立図書館に皆行ってしまう。それは文庫にない本に出会えるためだと思えます。そこで、今後は催し物で特色を出そうと考えています。

司会 文庫の特色を出すのにどんなことを企画していますか。

田口 クリスマス会、読書会、紙芝居づくりを毎年続けています。

今年は特に、さつまいもの苗を植え、本だけの知識に片寄らず体験学習的なものを取り入れました。秋の収穫を皆楽しんでにしています。



田口さん

鳥井 素晴らしいですね。私たちはちひろ美術館に行きたいと話しています。



鳥井さん

田口 いいですね。行くときは、みんなで行きましょう。

小野口 私たちは今年から映画会、スライド作成等を始めたいと考えています。

鳥井 スライド作成や映画会など、図書館でもできますか。

図書館から

近距離にある

文庫のあり方

司会 視聴覚ライブラリーが手助けします。大いに利用してください。(全員うなづく。)

田口 近いから子どもを連れて来るなど、今まで以上に図書館を利用させてもらえますね。

司会 子どもと読書については、どんな点に注意していますか。

鳥井 その子の個性を見つけて、合った本を選ぶよう努力すること。それと、親の態度、自分でテレビばかり見て本を読めと言っても無

三文庫の紹介

○ふじ読書会

発足 昭和五十三年十一月
文庫所在地 富士見分館内
代表者 田口サイ(田34-1668)
会員 十四世帯 三十名
開庫日時 第二木曜日 午後〇時～一時
第四水曜日 午後三時～四時

○こうめ文庫

発足 昭和五十二年十一月
文庫所在地 宮原一七一二(小野口宅)
代表者 小野口幸子(田34-10745)
会員 六世帯 十九人
開庫日時 月曜日 午後三時三十分～四時三十分

○青い鳥文庫

発足 昭和五十四年十一月
文庫所在地 鶴田町三三二九一(鳥井宅)
代表者 鳥井越子(田35-1925)
会員 十五世帯 三十五名

※文庫に入りたい人は、代表者まで御連絡ください。

理な話ですから。

田口 字が読めるようになったからといって、突然一人で読めと言うのも無理がある。半分ずつ読むとか、工夫も必要ですね。



小野口さん

小野口 読み聞かせをして、子どもの知力と読書技術の差を埋めてあげる努力をして欲しいですね。

司会 文庫の性格、目的は？

小野口 子ども会から出発しましたので、良い本に当たれば本は楽しい、その楽しさを子どもたちに知ってもらおうことです。

田口 地域文庫であり、子どもだ

盗難にご用心!!

「ちよつと、本を借りるだけだから、だいじょうぶ。」

あなたも、身に覚えがありませんか？

自転車に荷物を置いたままにして盗難にあう方が、後をたちません。ロッカーをご利用ください。

もちろん、自転車にカギをかけるのもお忘れなく。

守って下さい駐車禁止!!

図書館前の道路は、駐車禁止です。もう一度駐車場に空きがないか確かめてください。余裕を持って、お互いに気持ちよく利用しましょう。

??? ? ? ? ? 満室の閲覧室か
??? ? ? ? ? ら流れてきた学生
??? ? ? ? ? がよく、グループ
??? ? ? ? ? 研究室を利用した
??? ? ? ? ? と言っています
??? ? ? ? ? が、個人の持ち込
み勉強は、いっさい認めておりま
せん。室の名が示すとおりグルー
プによる研究、討議の場として利
用してもらうためにあります。

現在、読書会、童話の会、短歌の会など、いろいろなグループが積極的に利用しています。予約制ですので、利用する際は、事前の許可が必要になります。

「すいひつ」講座の開催

講師 志賀かう子氏（本年の日本エッセイストクラブ賞受賞者）

テーマ 祖母 わたしの明治

日時 昭和58年9月11日（日）

午前10時～午後0時

場所 市立図書館 集会室

定員 百二十名

受付 8月25日（木） 午前9時から

子どもの本を考える

昭和五十八年度として二回連続講座を行います。第一回として、児童文学者の北川幸比古氏を講師にむかえ、八月二十八日午後一時三十分から行います。

テーマは「子どもの読むノンフィクション」どう選ぶかどう書くかです。八月十七日から受け付けます。

16ミリ映写機技術者講習会

日時 8月20日（土）・21日（日）

場所 市立図書館三階集会室

対象 市内に住む方で、証明書取得後は16ミリ映写ボランティアとして活動して下さる方。

定員 30名。応募者多数のときは

選考させていただきます。

受付 8月3日（水）～8月10日（水）

直接、視聴覚ライブラリーへ。

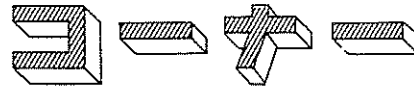
落語会

市民の皆さんの応援に支えられて、落語会は第7回を迎えることができました。のんき亭喜楽一門

会によるさわやかな高座を、ごゆっくりお楽しみください。

今回は8月27日（土）午後三時からです。図書館三階集会室へ、直接

おこしください。



映画会

8月6日（土）夏休み映画会

「予言」42分

「僕の村は戦場だった」75分

9月18日（日）敬老の日になんで「たぬきのいる町」50分

「故郷は心の中に」50分

時間 第一回 午前10時30分から

第二回 午後1時30分から

場所 市立図書館三階集会室

定員 150名（先着順）。入場無料。

貸出状況

	58年6月	58年度累計 58/4～58/6
登録者数	1,603人	62,458人
貸出人 数	館内	19,430人
	視聴覚	2,332
	館外	3,994
計	25,756	64,842
貸出冊 数	館内	59,474冊
	視聴覚	5,008
	館外	16,661
計	81,143	203,482

6月の	館内	1日あたり	館外	1ステーションあたり
貸出人数	777人		37人	
貸出冊数	2,379冊		149冊	

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は、午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日
国民の祝日
図書整理日
（毎月初日または翌日）

○一人一枚 自分の券で

貸出券は、一人一枚です。利用は、自分の券でしてください。貸出券の貸し借りは絶対にしないでください。また、紛失で再交付を受けたあと、紛失券を発見したときは、図書館へ返してください。

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	①	②	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	22	23	24	25	26
27						
28	㉑	30	31			

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	⑮	16	17
18	⑰	20	21	22	⑳	24
25	㉑	27	28	29	30	

ボランティア製作

（あ）（た）（ら）（し）（い）（本）

▽テープ図書
わらしべの里実践記・和洋華いためもの（黒川敏子） 山本五十六・緊急重役会（木村あい） 母と子の九星相性学・子どもの喜ぶふし話とんち話（鴨志田正子） 女の一生

（横山嘉子） 峠の群像（藤田東子）
まひるのライオン（丸山恭枝）
▽点訳図書
おひめさまとりゅう（阿見孝子）
たのしいおりがみ（梶原ゆみ子）
和久井光子） ちいさななにもいろいろも（北川君子） ねこのかいぎ（斎藤恵子） ながぐつをはいたねこ（塚原瑛智子） これはあな

たの母・沢田美喜と混血孤児たち全5巻（増山初美） ひろしまのピカ（原田邦子） リスのナトキンのおはなし（小林弘子）

寄贈

東京海上火災保険「蔵」。少飛
会事務部「陸軍少年飛行兵史」。
演劇出版社「続二歌舞伎年代記」。
中央通信社「野州兵団奮戦記」。
大野登士「歌集大和路抄」。渡辺
清「歌集ことぶき」。日光東照宮
社務所「ニュージランド紀行」。
ほか多数。